

2班 ジャポニスム



19 世紀後半に欧米で起こった日本美術ブームのことで、工芸品と浮世絵を中心とする日本美術への強い興味で、フランスを中心に、ヨーロッパのほぼ全域からアメリカまで西洋世界の広範囲で流行しました。

ジャポニスムを自分たちなりに、和柄や風物詩を取り入れて日本らしさを現代的にアレンジしました。

2-1



担当アイテムがアクセサリーなので、全体のコーディネートにあわせてデザインを考えました。テーマがジャポニスムなので、日本らしさを重視してデザインしました。ベルトは、日本の伝統である組紐にし、かばんは巾着袋にしました。また、帽子はレトロな雰囲気を出すために、形がかわいいチューリップハットにしました。



セットアップだったためパンツを作ってくれている人と相談しながら統一感をだしました。ジャケットはいろんなパーツが多いためいつも以上に丁寧に布をきって、ぬいあわせました。襟のところを一番きれいに見せるため、アイロンをして時間をかけながら丁寧に作りました。



可愛らしい雰囲気にしたかったので、ストレートよりフレアっぽくひらひらした感じで、膝丈ぐらいをイメージしました。トップスに柄があるので、シンプルにすることを心掛けて、後ろ丈を少し長くしてデザイン性を持たせました。



シャツの襟部分には赤と白を使った市松模様や、襟部分には三崩し柄を施し、綿とポリエステルを使用しました。和柄を使うことによって、ジャポニスムを上手く表現出来たと思います。袖にはふんわり感を出すためにオーガンジーを使って透け感を出し、デザインポイントとしました。



メインの素材をレーヨンの伸びる素材を使用し、襟元にはテンセルと
いった少し違う素材を使用し、少し
違う印象に見えるようにしました。
デザインのポイントはジャケットか
ら少しだけ見える胸元部分にギャザ
ーをよせて、フリルみたいなデザイ
ンにしました。



カチューシャには、少し暗めの赤色を持ってきて目立たせ、カチューシャが少し暗めな赤色だったので、帯の色はその色と異なる赤色とピンク色が混ざった色を入れて、可愛さを演出しました。カチューシャが暗めな赤色で帯にはピンク系の色を使用したので、ブレスレットには、反対色のカラーを入れてエメラルドグリーン色にしました。



フレアパンツのセットアップにテーマのジャポニズムを表現するために、金魚のイラストを抜染で施し、デザインポイントとしました。

日本人の“緑”に対する特別な感性を取り上げて緑色にしました。日本には様々な緑があり松や新緑、抹茶など日本の豊かな自然がイメージされると思います。日本の代表的な色の一つである緑とクールに見せる黒を組み合わせました。